

生活と廃棄物

この分野は、「ライフスタイル」に関わる要素のうち、購買、消費、ごみの排出、生活排水といった生活と廃棄物に関する行動・行為を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【購買】

環境にやさしいものが選択され、
ゴミが少なくなっている

【消費】

修理したり使い方を工夫して、
ものを大切に使い切っている

【リサイクル】

分別が徹底され、
リユース(再使用)・リサイクル(再資源化)をしている

【排水】

魚が住めるきれいな川になるように、
家庭からの排水にも気をつけている



環境指標と数値目標

NO.	指標名	現状値[H.19]		短期目標[H.25]	長期目標[H.35]
J 1	1人1日当たりのごみ排出量	807	g/ 人・日	800	800
J 2	リサイクル率	28.4	%	37	50

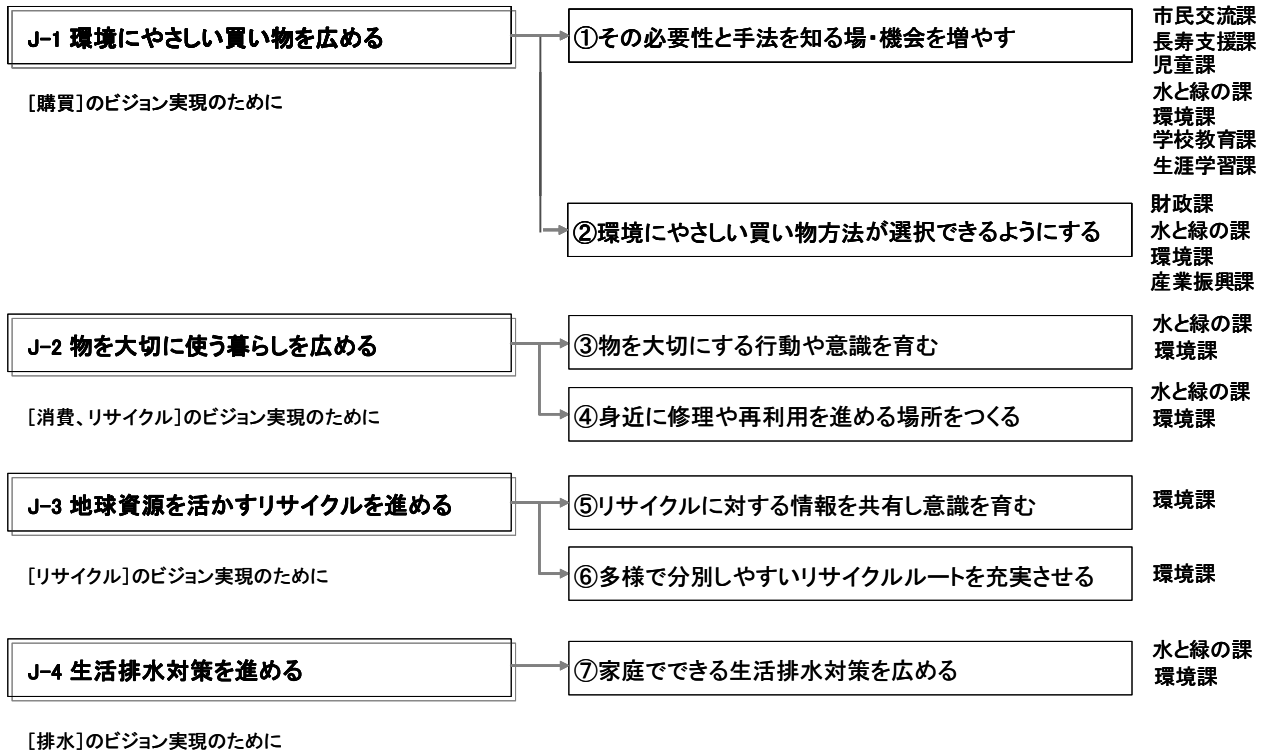
[検討・把握する環境指標] 生ごみリサイクル世帯数

「環境まちづくりビジョン」を実現するために！こうしていこう！



環境まちづくりプログラム

施策の体系



J-1 環境にやさしい買い物を広める

なぜ買い物時に環境配慮する必要があるか、どのように配慮する必要があるかなど、その必要性や方法を周知することにより環境にやさしい買い物を広めていきます。また、販売店側の環境にやさしい商品の品揃え拡大を進めていきます。

[施策メニュー]

あらゆる教育の機会での啓発、市民運営による教育・情報センターの設立、老人会・PTAなど地域での活動との連携による啓発、広報・ミニコミ・インターネットによる啓発、エコ住宅ガイドライン日進版の作成
 環境にやさしい買い物方法の明確化、有害物質を出さない商品選択の普及、グリーン購入³⁹の普及、すべての商品への環境配慮要請、過剰包装を減らす取組、計画購入の啓発、マイバッグの普及、お店と消費者タイアップによる啓発やイベント開催、エコ生活の達人を紹介する「エコひいき」コーナーの商店への設置、グリーンコンシューマーガイドブックの作成と普及

³⁹ 製品やサービスを購入する際に、その必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先して購入すること。

J-2 物を大切に使う暮らしを広める

物を永く大切に使うことは、ごみを減らし、商品製造時のエネルギーを節約することになることから、環境にやさしい行動の一つといえます。そのため、物を大切にする心を養うとともに、フリーマーケットなどによる不用品交換の場や気軽に修理できるような場を増やしていきます。

[施策メニュー]

修理方法を指導してくれる自己修理場所の整備、フリーマーケット・修理場所などの情報提供、エコクッキング⁴⁰の普及

参加しやすいフリーマーケット等不用品再利用の場の整備、学生の不用家具のストックヤードの整備や情報提供、リサイクルショップの普及と情報提供、市民リサイクルショップの経営

J-3 地球資源を活かすリサイクルを進める

不用となって捨てられるごみも分ければ再び資源として利用できるものが多くあります。このようなりサイクルは地球の有限な鉱物資源などの枯渇を防ぎ、エネルギー消費量も低く抑えられるため積極的に進めていきます。

[施策メニュー]

リサイクルの流れの情報提供、分別方法の町内ごとの説明会の開催、資源回収場所の情報提供、市民団体によるリサイクル情報の発信、容器包装リサイクル法・家電リサイクル法に基づく計画的な回収、循環型社会に対応した地区回収拠点の整備

分別方法の統一化、廃品回収団体の育成、身近な回収場所の確保、販売店での引き取りの強化、生ごみ処理機の普及、堆肥づくりの会の設立と堆肥利用の推進

J-4 生活排水対策を進める

川や海の有機性の汚れの7割前後は、家庭からの生活排水と言われています。特に、浄化槽などで処理されず台所や洗濯場などから排出される雑排水が大きな原因となっています。下水道や合併処理浄化槽の普及を進めるとともに、排出源対策として家庭における雑排水をできるだけきれいにする取組を進めます。

[施策メニュー]

アクリルたわし⁴¹など洗剤を減らすことができる洗い方の普及、何が水にやさしいかのハウツー情報提供

⁴⁰ 旬の食材を上手に使切り、エネルギーの無駄や生ゴミ・汚水を減らす、環境に配慮した調理方法のこと。

⁴¹ アクリル素材の糸を編み上げたたわしで、洗剤をつけなくても汚れが落ち、洗剤使用量を減らすことができる。